

# 平成30年度 当初予算

平成30年度予算は、若者に選ばれるまち、誰もが活躍するまちをめざした施策を総合的にバランスよく展開する予算案になっています。その中でも、子育てしやすい環境の整備と教育施策の充実、経済基盤となるインフラ整備とバランスのとれたまちづくりによる域内経済の拡大と人口減少対策を強化する内容になっています。

## 〈 予算規模 〉

会計別	平成30年度	平成29年度	増△減	伸率(%)
一般会計	7,784億円	7,812億円	△27億円	△0.4
特別会計	6,604億円	7,077億円	△473億円	△6.7
企業会計	3,176億円	3,207億円	△30億円	△1.0
合計	17,565億円	18,097億円	△531億円	△2.9

## 当初予算における主な施策（抜粋）

- 平成31年4月より全学年受入が始まる学童保育の受入体制の充実（整備13か所、設計3か所）
- 保育機能とオフィス機能を併設する「仕事と子育ての両立支援拠点」の整備
- 未就学児のいる世帯は2名まで市営駐輪場利用料金を半額に減免
- しあわせの村の駐車料金が18歳未満の子どもを含むグループは無料に
- 小磯記念美術館・神戸ゆかりの美術館・神戸ファッション美術館の高校生料金の無料化・大学生を一般料金の半額とする特別料金の設定
- 道路等へのベンチの設置拡充
- JR三ノ宮駅・阪急神戸三宮駅へのホーム柵の導入に係る助成
- 神鉄シーパソワンの販売枚数を4枚から5枚へ拡充
- 三宮からまやビューライン・六甲ケーブルへの直行バス運行の社会実験など六甲山・摩耶山の活性化の充実



仕事と子育ての両立支援拠点イメージ



ホーム柵



### 民泊条例が可決・成立！

私たちは、住宅（マンション含む）を活用して宿泊サービスを提供する民泊サービスを制限する、いわゆる「民泊条例」を可決・成立させました。

住宅専用地域内や学校の近くでは、民泊サービスは原則として禁止となります。

観光振興と市民の生活環境に十分配慮しながら民泊サービスが行われるよう、これからも求めていきます。

### ヘルプマーク・ヘルプカードの配布スタート！



障害のある方などが災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に自己の障害への理解や支援を求める「ヘルプマーク」「ヘルプカード」の配布が区役所等で始まりました。

私たちも導入を求めてきた、この「ヘルプマーク」「ヘルプカード」を見かけたら、思いやりのある行動をお願いします！